

名古屋外国語大学論集

第5号

**特 集**

# 名古屋外国語大学における CELP の現状と課題

## The Cross-departmental English Language Program at Nagoya University of Foreign Studies: Current Situations and Issues

CELP (Cross-departmental English Language Program) と略称される学部共通英語基幹プログラムは、言語専攻ではない学科を含めてどの学科においても、英語が重要であることに変わりはないということを前提に行われている英語科目である。それ故、1年次には、英語を専攻としない学科でも、英語を専攻とする学科と同程度の高レベルの英語教育を行っている。どの学科に対しても教育の質の保証を高レベルで実現することを目標としている。

本特集は、このプログラムの現状（特に2018年度）と課題を、CE (Core English)、PUT (Power-up Tutorial)、LC (Listening Comprehension)、TTIについて、学部別にそれぞれ概観・論述したものである。

最後に、本特集を組んで下さった本学論集委員会に謝意を表します。

言語教育開発センター CELP 部門長

池内正幸